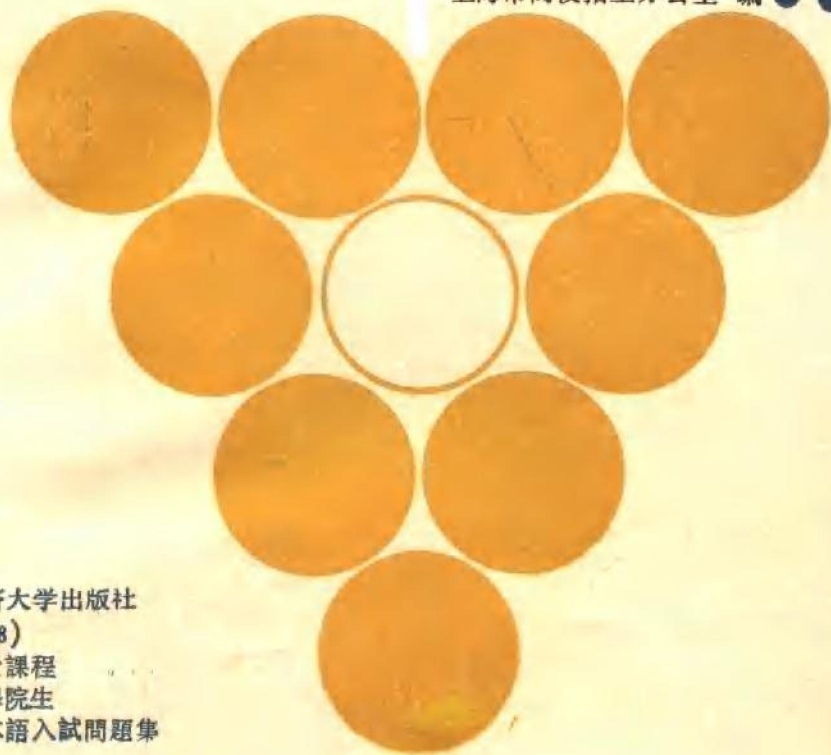


上海市高校招生办公室 编 ● ●



同济大学出版社
(1988)
修士課程
大學院生
日本語入試問題集



全国统考科目系列丛书 (1988)
硕士学位研究生入学日语试题汇编

硕士学位研究生入学日语试题汇编

1988

上海市高校招生办公室编

同 济 大 学 出 版 社

内 容 提 要

本书汇编了一九八八年研究生入学日语考试的全部有关资料，书中包括：正副题两套、评分标准及参考答案两套、二外试题（正题）一套、二外试题（正题）参考答案及评分标准一套，为了有利广大读者学习参考，编者对每套试题的答案加以重点注释。

本书由国家教育委员会（原教育部）委托全国硕士学位研究生外语考试的命题单位编写。书中收集的资料完整、详实、注释简明扼要，是一本适宜于大专院校广大师生、国内报考硕士学位的考生、出国留学学生的较好的参考用书，也是各资料室、图书馆的必备资料。

责任编辑 陈自强

封面设计 陈益平

*

硕士学位研究生入学日语试题汇编

上海市高校招生办公室编

*

同济大学出版社出版

（上海四平路 1239 号）

新华书店上海发行所发行

上海外语学院印刷厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 2.75 字数 66 千字

1988 年 10 月第 1 版 1988 年 10 月第 1 次印刷

印数：1—3000

定价：1.45 元

ISBN 7—5608—0191—9/H·38

前 言

我国硕士研究生的外语入学考试，1980年起实行全国统一命题和统考；1987年起外语专业（第二外语）入学考试，实行单独、统一命题，1988年的命题工作仍由国家教委委托上海市高校招生办公室负责组织。1980年—1987年的试题已经分语种汇编出版。本丛书是1988年非外语专业考生用外语试题和外语专业考生用外语（第二外语）试题汇编，仍分语种出版，读者对象仍是未来的应考者，同时也供大学外语教师和其他外语教师参考，供图书馆和资料室备用。

1988年非外语专业考生用试题，在题量和题型、深广度和难易度等方面，与1987年试题相仿。外语专业考生用试题，是根据有关规定和实际教学情况新设计的。本丛书的各语种汇编本仍象1980年—1987年汇编一样，除收入试题的正题及其参考答案和评分标准外，还收入备用的副题及其参考答案和评分标准，也均附有试题注释。

为了更全面地了解和熟悉硕士研究生外语入学考试的要求和题型，非外语专业的未来应考者最好还能参考和熟悉一下前八年的试题。

本丛书的两类试题，对象不同；但在命题主导思想和题型等方面有共同之处（如要测验外语基础知识，但主要测验知识的应用能力；在题型方面，限定型和非限定型结合，等等），读者如能同时了解和熟悉这两类试题，对提高外语水平和复习备考效率都会有所裨益。而这一点，正是我们把这两类试题汇编在一起的原因。

我国的外语教学水平在逐步提高，新的大学外语教学大纲在陆续审定和施行。硕士研究生外语入学考试的要求将相应地逐渐有所变化，未来的应考者不应该只满足于熟悉和能答对汇编本中的试题，还应该进一步提高自己的外语水平，特别是提高外语运用能力。

参加本丛书编辑工作有日、英、俄、德、法五种外语学科命题小组成员，本书的注释由徐祖琮等同志完成。编辑同志热诚希望读者对本丛书提出批评、建议。

编 者

1988 年 5 月

目 录

试题题型分项介绍

前言

一九八八年试题（正题）	1
一九八八年试题（副题）	16
一九八八年试题（二外）	29
一九八八年试题（正题） 参考答案及评分标准	42
一九八八年试题（副题） 参考答案及评分标准	48
一九八八年试题（二外） 参考答案及评分标准	54
一九八八年试题（正题） 答案注释	57
一九八八年试题（副题） 答案注释	68
一九八八年试题（二外） 答案注释	77

一九八八年试题（正题）

一、例にならって、文の_____の漢字はどう読みますか。番号に合わせて解答欄にひらがなを書き入れなさい。
(各0.3点、計9点)

例 新年の*抱負を語る

- ¹多分、目の²錯覚だろう むだな³労力を⁴費やす
 チャイムが⁵始業を⁶告げる ⁷快く⁸承知した
⁹巧みに¹⁰人形を¹¹操る ¹²薰りがあたり¹³一面に¹⁴漂う
¹⁵濡れた手で¹⁶触れるな ¹⁷現状の¹⁸維持に¹⁹努める
²⁰画像が²¹歪んで見える ²²事態の²³推移を²⁴見守る
²⁵手当を²⁶施す ²⁷貴重品を²⁸預ける
²⁹適切な³⁰措置を講じる

(解答欄) 例

*
ほうふ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

二、(I)、次の文の()の中に適当な助詞を書き入れなさい。ただし、それぞれの()の中にひらがなを一つずつ書き込むこと。(各1点、計5点)

- 1、いつもなら朝早く起きるが、日曜日()()
()六時半には目が醒めます。
- 2、いつも春先は火の不用心()()火事を起こすことが多い。
- 3、今回はお互いに助け合ったから()()うまくいったのです。
- 4、癌は安静に()()していれば治る病気ではない。
- 5、市民の生活水準が向上し()()あるのはなかなかかけっこうではないか。

(II)、次の文中の()に入れる適当な言葉を下のa～gの中から選んで、記号で答えなさい。ただし、同じものは一度しか使わないこと。(各1点、計5点)

- 6、あの人は、時と場合により、また相手()言い方を変えて、じょうずに応対する。
- 7、日本は昔から天気()のいろいろな^{ことわざ}諺がある。
- 8、学校()教育経費はここ二、三年にふえる傾向にある。
- 9、時が立つ()、娘を失った悲しみもしだいに薄らいできた。
- 10、交通事故は運転手の前方不注意()ものだった。
a、につれて b、について c、として
d、にとって e、によって f、による
g、における

三、次の a、b、c、d からなる四つの文のうち、ふと字で書いたところが一つだけ他の三つと違います。例にならって違うものを一つ選んで“×”をその文の前の()の中に書き入れなさい。(各1点, 計10点)

例:

- () a、今朝、田中君は朝ご飯を食べずに出掛けた。
- (×) b、青空を飛んでいる鳥の姿は実にすばらしい。
- () c、弟はいつも夜遅くまでまじめに本を読んでいる。
- () d、春は暖かい日ざしと美しい花とを与えてくれる。

11、

- () a、家に来てもらっておだやかに相談してみるのがよい。
- () b、幼い日になった歌をみんなで歌ってみる。
- () c、成長するときの変化をよくみることが大切である。
- () d、難しい問題を参考書で調べてみる大切である。

12、

- () a、先生の話はもちろん、お友達の話もよく聞かねばならない。
- () b、A君は注意深いから、忘れ物などはもちろんしない。

() c、もちろん、まちがいなく字が書けさえすればいいのではない。

() d、みんなが騒いでいるのは、もちろん、馬車が珍しいからではない。

13、

() a、おばあさんから千円いただいたので、それで辞書を買いました。

() b、停電だというのですか。それであなたはどうするつもりですか。

() c、きのうは雨でした。それで一日中家で本を読んでいた。

() d、山は危ないと聞いていたので、それで、行かないことにしました。

14、

() a、去年は北海道の叔父の家をひさしぶりに訪ねた。

() b、青森への急行列車は午後三時半に上野をたった。

() c、夕方のぞいてみたらうさぎは元気に耳を動かしていた。

() d、いま、大きな音をたててトラックが通りすぎた。

15、

() a、いつも柳の下に魚はいまいと言われている。

() b、今度はたぶん失敗しまいと彼は予想した。

- () c、へただと笑われたので二度と絵は書くまいと決心した、
- () d、酒ばかり飲んでいてはいつまでも丈夫ではとあるまい。

16、

- () a、私が東京へ行ったのは小学校六年のときでした。
- () b、あれは祖父のなくなる少し前のことでしたよ。
- () c、私達の乗っていたバスが止まると、コーヒーを飲みたいものは喫茶店へはしりこんだ。
- () d、絵の得意な池田君はポケットからノートを取り出した。

17、

- () a、ここまで来ればもう大丈夫だ。頂上は目の前だよ。
- () b、そんなことをすると子供にまで笑われますよ。
- () c、会合は六時に開きますから、五時半までにお集まりください。
- () d、いやだというなら、それまでだ。

18、

- () a、彼はあまりの興奮からついに泣き出した。

- () b、会議は明日の朝九時から始まることになっています。
- () c、今晚彼は家族を連れて十日間のヨーロッパ旅行から帰った。
- () d、試験の問題はこの本の中から出すことにしています。

19、

- () a、彼はもちろん、彼の母さえ姿を見せなかった。
- () b、自分の名前さえ書けない人もいる。
- () c、科学が進んで、人間は月へさえ行くことができるようになった。
- () d、それをみつけさえすれば、あとはどうでもいいよ。

20、

- () a、ここから停留所まで十分で行けるでしょうか。
- () b、そんなばかなことがあるものですか。冗談ですよ。
- () c、先生はきのうの音楽会にいらっしゃいましたか。
- () d、動物の中で何がいちばんはやく走るだろうか。

四、(I)、例にならって、次の文を書き変えなさい。但し
もとの文の意味を変えてはならない。(各1点, 計5点)

例: 五月一日以降なら暇があります。(ありません)
――→五月一日以前なら暇がありません。

21、月に水や空気がないので、雲やほこりなどが無い。

(…からだ)

――→

22、太陽はガスの固まりで、月のようにかたいものではありません。(月と違って……です)

――→

23、いくら忙しいと言っても、今日の会に出られるはずだ。(出られない)

――→

24、この問題なら、答えられるのは彼だけだろう。(彼しか)

――→

25、家の主人は庭の木々の名前まで一々教えてくださった。(…ていただいた)

――→

(II)、次の文を完成しなさい。(各1点, 計5点)

26、せっかく論文を用意しておいたが_____。

27、今になっても返事がないから、先生はたぶん_____

_____。

28、高いからといって、品物はかならずしも _____
_____。

29、警察でよく調べたところ、彼はぜんぜん _____
_____。

30、彼はたいへん不利な立場に _____。

五、次の文の中の間違いを直しなさい。(各1点、計10点)

31、これはわたしが何年も前に手に入る教材です。

32、試験が近づいたので、夜遅くまでに勉強する学生も少
なくないです。

33、若い時広州へは一度行ったことがありませんでした。

34、うちのばらはあまりきれくないが、よくにおいます。

35、このごろは忙しくて、あそんでいるはずにはいかない
よ。

36、この参考書は先週友達がわたしに渡してあげたもので
す。

37、かれは健康状態から見れば、今度の学会には参加でき
ないそうです。

38、がくせいはタバコを飲まないべきです。

39、先月向こうについたはずのに、どうしたことか、いっ
こうにたよりがないね。

40、来年といっても、あと一週間だけないじゃないか。

六、次の文を日本語に訳しなさい。(各 3 点, 計 15 点)

41、要想取得好的成绩,就需要充分复习。

42、照这样的话,明天或许还会下雨的。

43、你们已经学了一年多日语了,这次就用日语写吧。

44、既然是约好的,他肯定会来。

45、已经是三月份了,可为什么还是这样冷呢?

七、次の文を読んで、あとの問に答えなさい。(問 1 は各 2 点, 計 6 点; 問 2 は 2 点; 問 3 は各 2 点, 計 4 点; 問 4 は各 1.5 点, 計 3 点。七は全部で 15 点)

晩秋のある日, 旅行先の駅で, 「先生, これは, わたしの庭に残っていた木守りの柿^aですよ。先生と奥様とに一つずつ。」と見送りに来てくれた古い知人の三浦さんが, 紙包みを渡してくれた。

この「木守」ということばを, わたしは長い間耳^bにしなかった。わたしは, 子供の時, 自分の庭の柿の実の熟するのを待ちかねたものだった。秋祭りの二、三日^{とりい}前, それを採入れるのである。母が下の方で, 「あぶないですよ。」と言うのを, 「なあに。」と父は樹上^cで答えて, 一つ一つ柿をもぎとっては腰にぶら下げたかごに入れていく。(^I) 「そうら, 熟柿だよ」と見上げているわたしに声をかけて落としてく

れる。それを両手でうまく受け止めるのが、またうれしかった。

ところが、父は柿を全部ちぎらず、^d 梢^{こずえ}の実を二つか三つ必ず残して降りてくるのが常だった。なぜかと尋ねると、「あれは木守りと言って、ああしておかないと、来年は実ができないのだ。」と教えてくれた。

秋祭りも終わると、急に村は^{II}（ ）する。わたしは、その二つ三つの木守りが、葉もすっかり落ちてしまった柿の梢に冷たく光って暮れ残っているのを見ると、もう冬も近いことを子供心に感じたものであった。

「来年もまたよく実がなるように」とは欲張った願いのようだが、しかし大人になって考えると、それには¹深い心¹がこもっていることに気がつくようになった。二つか三つをその木の守りとして残しておき、それを「木守り」と名づけた。この「ことば」にこもるわれわれの祖先の心のあたたかさにふれる思いがする。

²それはわたしの田舎だけの^eならわしか²と思っていたら、
^{III}（ ）三浦さんも同じことばを使っていたのだ。その木守りをわたしにくれるというのである。久ぶりに聞いた「木守り」ということばがわたしの胸にしみた。

注： a、木守り/守护神 b、耳にする/听到，听

c、もぎとる/摘，摘下 d、ちぎる/摘取，摘

e、ならわし/习惯

問1 () I、II、IIIにあてはまる最も適切なことばを次から選んで、その記号を解答欄に記しなさい。

- I、ア. ときには イ. いつも
 ウ. 思い出したように エ. いつでも
- II、ア. あっさり イ. さっぱり ウ. ひっそり
 エ. しみじみ
- III、ア. 思ったとおり イ. 思いがけず
 ウ. ほんとうに エ. 皮肉にも

解答欄

I	II	III

思2 ¹ 深い心は、ここではどんな意味ですか。最も適切なものを次から選んで、その記号を解答欄に記しなさい。

- ア. 来年もたくさん実がなるようにと欲張る心
イ. 柿の種を絶やさないようにという心
ウ. 全部取ると眺めるものがなくなるという寂しい心
エ. 柿の木の命を大事にしたいという心

解答欄

--

問3 ² それが指している文の初めと終わりをそれぞれ五字ずつ解答欄に書きなさい。(ただし、句点・読点も一字と数える)

解答欄

初めの五字	終わりの五字